

投資家に評価される統合報告書とは

「共感を呼ぶ統合報告書」へのステップアップ

非財務情報開示の活発化に伴い、統合報告書の発行企業は年々増加しており、2019年は500社超に達しました。財務情報と非財務情報を結合した統合報告書の発行社数が増えることは、発行企業及びステークホルダーにとって好ましいことです。しかし、比較対象の増加は読み手の評価能力を高めることに直結しており、統合報告書の完成度及び評価の格差は拡大傾向を見せています。

本セミナーでは、漠然とした統合報告書の発行動向等の情報提供ではなく、具体的にどのような開示が読み手に「響くか」に焦点を絞って説明いたします。評価されるトップメッセージ、価値創造プロセス、ガバナンス、リスクマネジメント等につき、グッドプラクティスを交えて考察します。短い時間ですが、ESG担当者として今後自社の開示において留意すべき点などを考えていただくきっかけとなれば幸いです。

◆日時：2020年12月18日（金）14：00～15：30

◆会場：オンライン（Zoom：お申し込みいただいた方にアクセス情報をお伝えします）

◆参加費：無料（定員15名様、1社につき2名様以内でお願い申し上げます）

※同業他社の方ご参加につきましては、誠に恐縮ながらご遠慮願います。

◆お申込み：<https://forms.gle/B8eomEEEUoo2Dc5T8>

◆お問合せ：クリーンセミナー事務局 E-mail/application@cre-en.jp

◆講師：村山 邦雄

（株）クリーン サステナビリティ・コンサルティンググループ コンサルタント

大手銀行系クレジットカード会社を経て、大手IRコンサルティング会社にて、大企業向け機関投資家対応プログラムや個人株主向けアクションプラン策定、IR説明会開催支援等に従事し、クリーンに参画。ESG情報開示や統合報告書制作支援等に従事。青山学院大学国際政治経済学部卒業。

<株式会社クリーン>

1988年設立。サステナブル（＝持続可能）な社会を実現することを使命に、統合経営®コンサルティング事業を展開。2000年より大企業を中心にサステナビリティ経営推進体制の立ち上げ、中長期ビジョン・経営計画の策定、マネジメントの推進、サステナビリティレポート、統合レポートをはじめとした情報開示およびステークホルダーとのコミュニケーション支援を一貫して行っています。